

## 研究に関するお知らせ

（研究の名称：転倒リスクが高い透析患者に対する前庭覚の活性及び支持基底面からの重心の移動を取り入れた運動介入効果）

医療法人社団つばさ つばさクリニックでは下記の研究を行うことを計画しています。

本研究に関してご質問などある場合には、下記連絡先までご連絡ください。

### ■研究の対象となる方

当施設で血液維持透析を行っている方の中で転倒歴のある方。2025年9月から2025年12月までの期間に下記に示す運動を行っていただいた方。

### ■ご協力いただく内容

上記の対象期間中に行われた運動効果判定情報（SPPB、ウオークビュー、FES-I）と診療録に記載された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては、厚生労働省が定めた倫理指針に則り、個人情報には厳重に保護した状態で行います。

### ■研究の概要

透析中の運動療法が普及して透析患者さんのADLは向上してきました。しかし、独歩が可能となったこともあってか転倒して骨折する患者さんはいなくなります。透析患者さんの転倒リスク軽減を目的に、①サイドステップと②前庭動眼反射（VOR）を透析前に行っていただき、外側半規管や耳石器（主に卵黄嚢）の活性化を図ります。運動効果はSPPBとウオークビュー、FES-I（転倒に対する恐怖の評価）で行います。

### ■問い合わせ先

医療法人社団つばさ つばさクリニック

大山恵子

連絡先：03-5625-0283

Email: keiko@higasiguti.jp